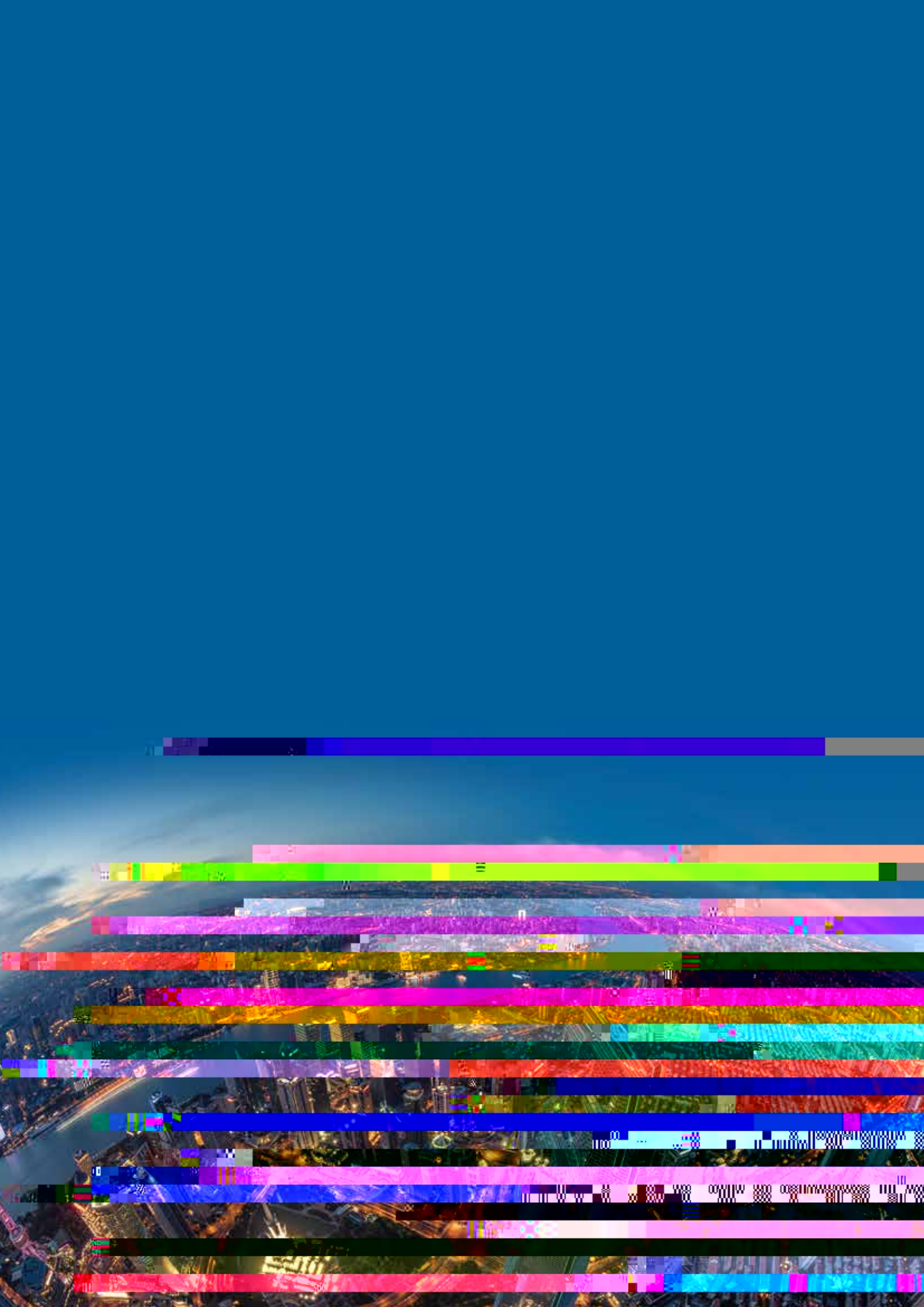


5

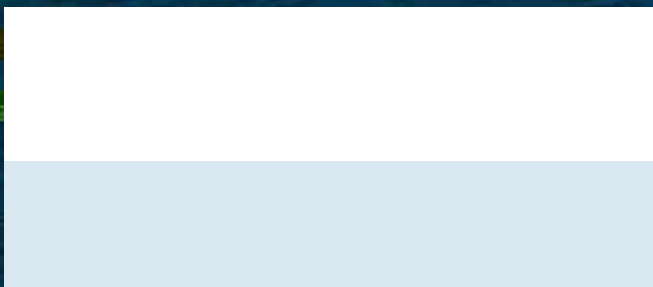
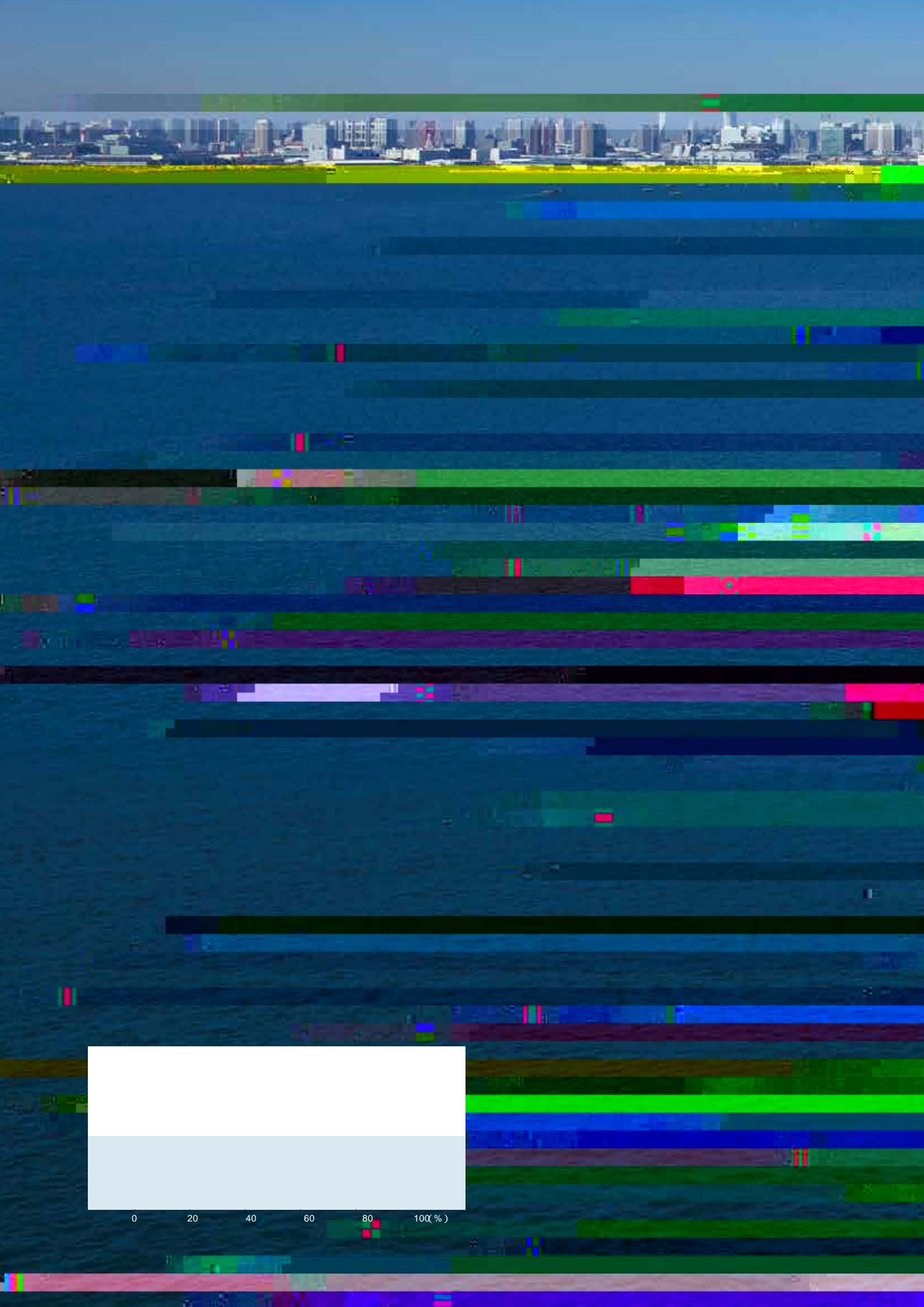




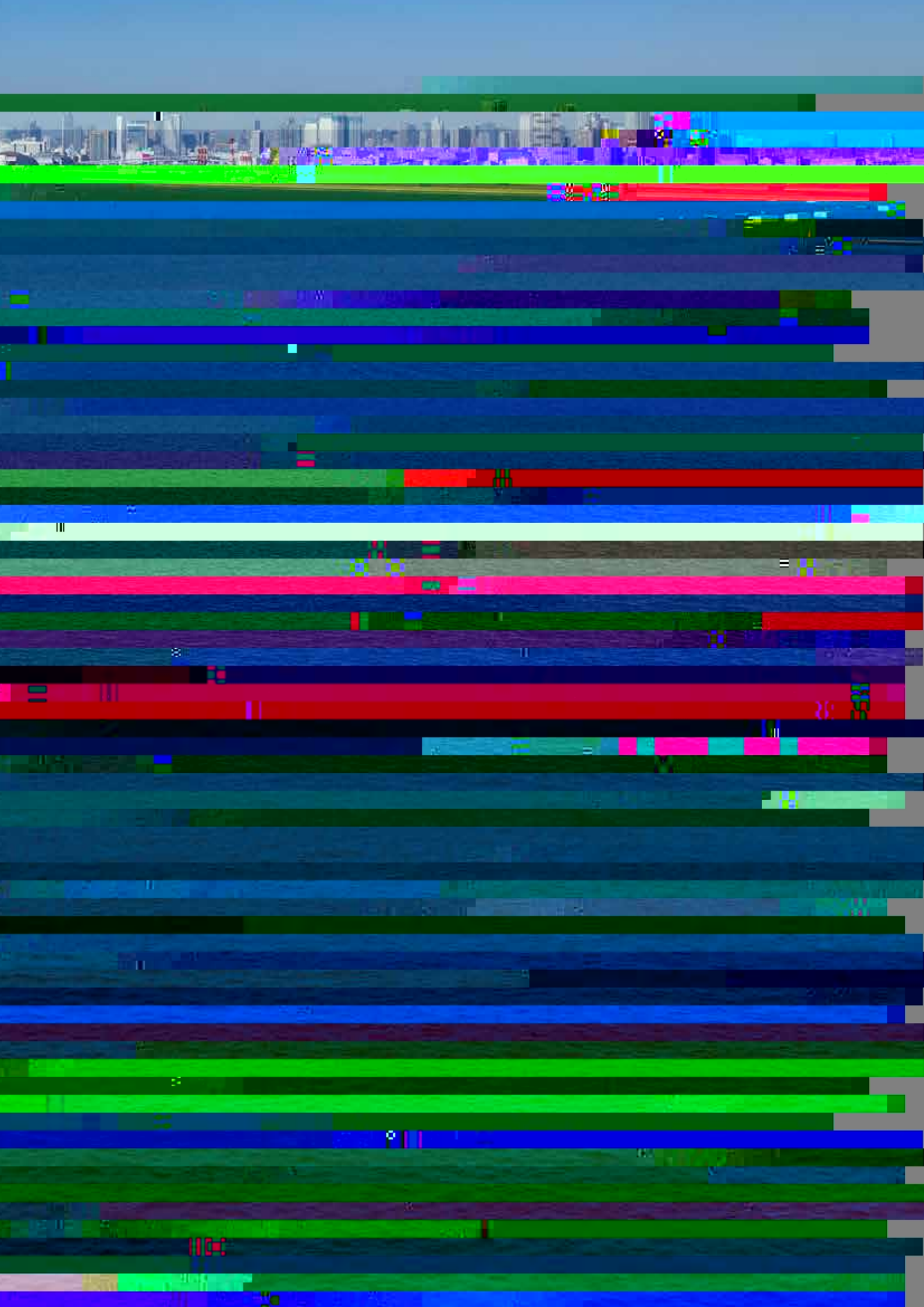








0 20 40 60 80 100(%)



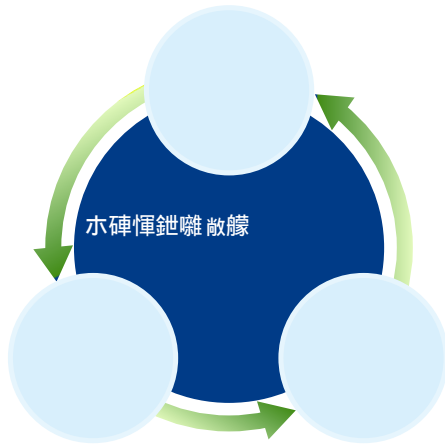
# 持続的な成長の 「機会」と「リスク」への対処が







中興經老社服



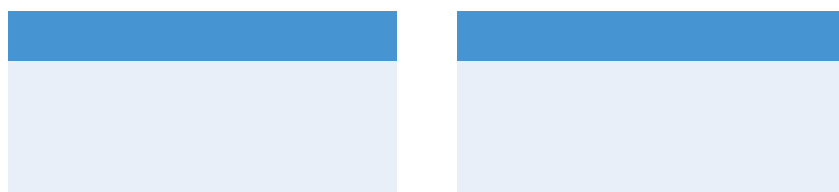




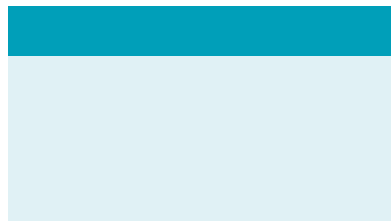
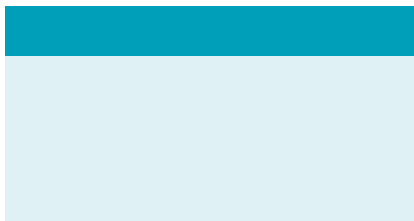


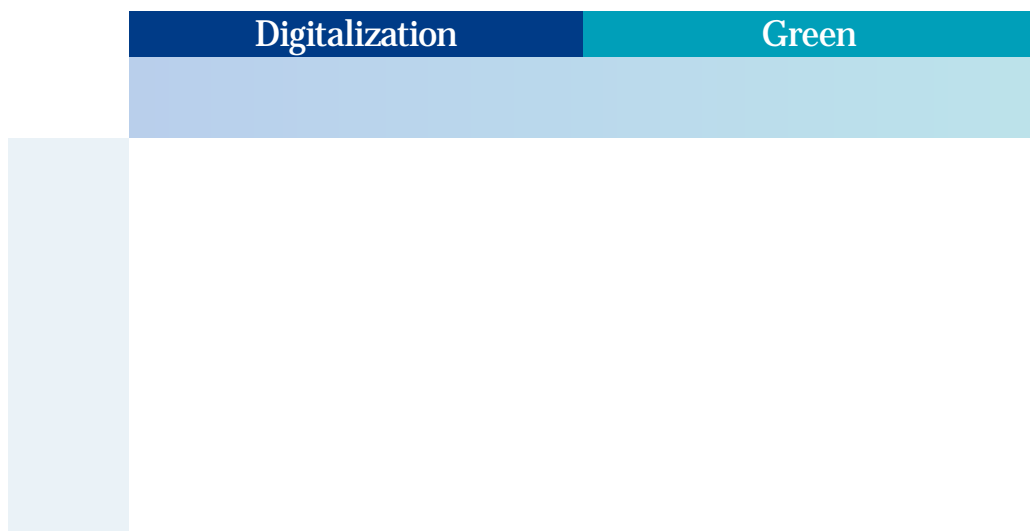






日本郵船グループを取り巻く環境2







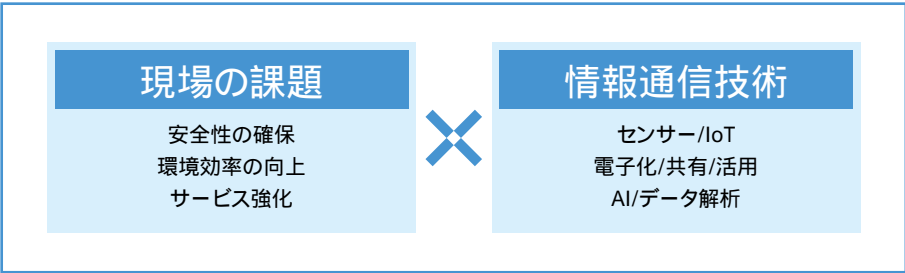


--

--

--



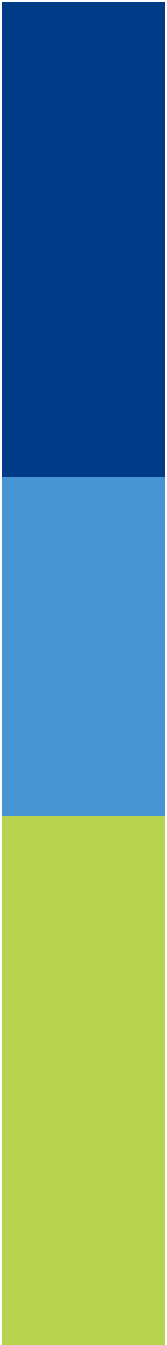


**挑戦を許容する企業文化の醸成**











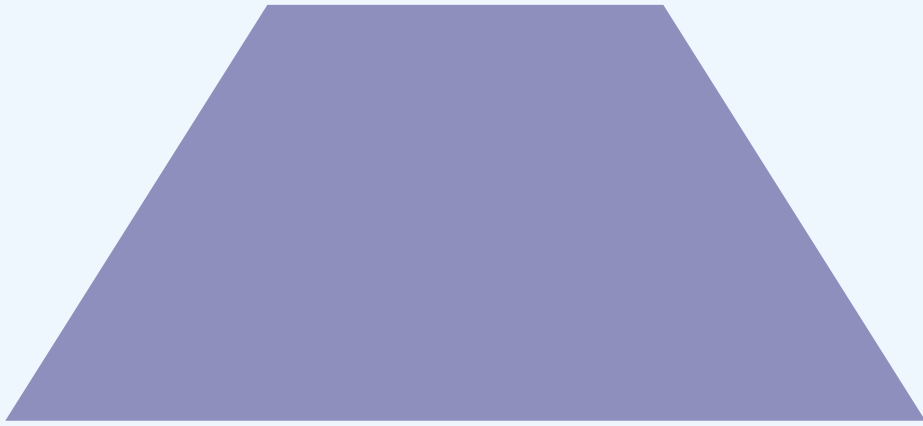


































## 人的資本強化に向けた主な取り組み

当社では、勤務時間の制約が制約とならず、誰



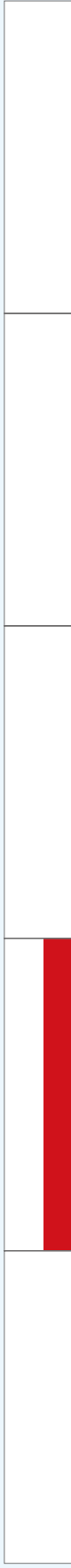




N  
Y  
K





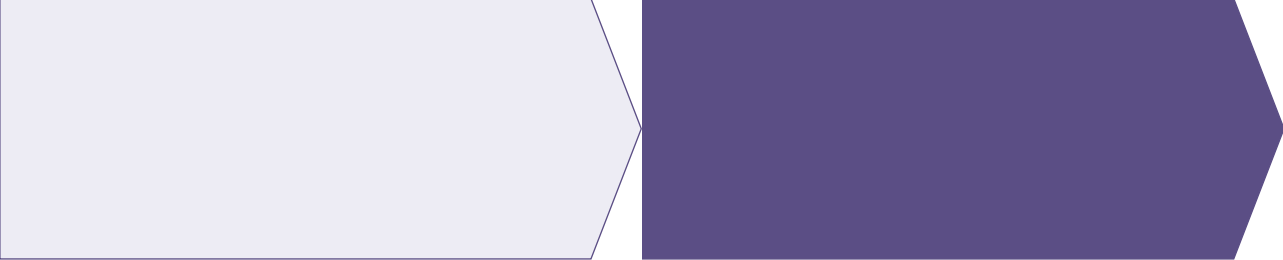




定期コンテナ船ビジネスのスケールと複雑さ

定期コンテナ船事業は、大変複雑で奥深いビジネスで

**航空貨物**









手元に届くまで、今、どこでどういう状態の蜘蛛は 傘ひ痘うつ痔





成への転換を進めていきます。

また、市況が変動しても確実に収益を確保できるような  
マー












売上高

当期純利益(親会社株主に帰属する)ROE

## 格付け

格付会社	種類	格付
日本格付研究所(JCR)	長期発行体格付(見通し)	A (ネガティブ)
	債券格付	A
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付(方向性)	BBB+ (安定的)
	長期	BBB+
	短期	a-2







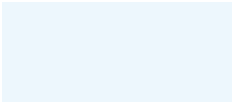




会社の経営方針は、当然のことながら、経営幹部が日本郵船で得てきた考えや知識に基づいて決していくものですが、そのベースとなる体験や判断の部分を広げることにより社外取締役の意義があると考えます。

こうした観点から、日本郵船の企業価値全般に広がる分野で貢献するため、国・海外の長期的経済動向、地政学的な国際情勢の見通し、テクノロジーの長期予想などについて、経営陣の判断を形成するベースを広げよう





取締役	[Redacted]	[Redacted]
監査役	[Redacted]	[Redacted]

コーポレートガバナンスのさらなる充実と取締役会機能の透明性確保のため、当社は社外取締役が過半数を占める指名諮問委員会および



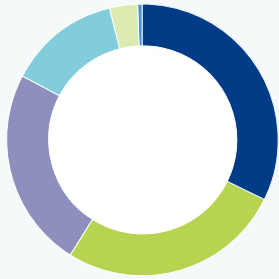




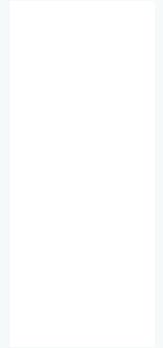





株主構成



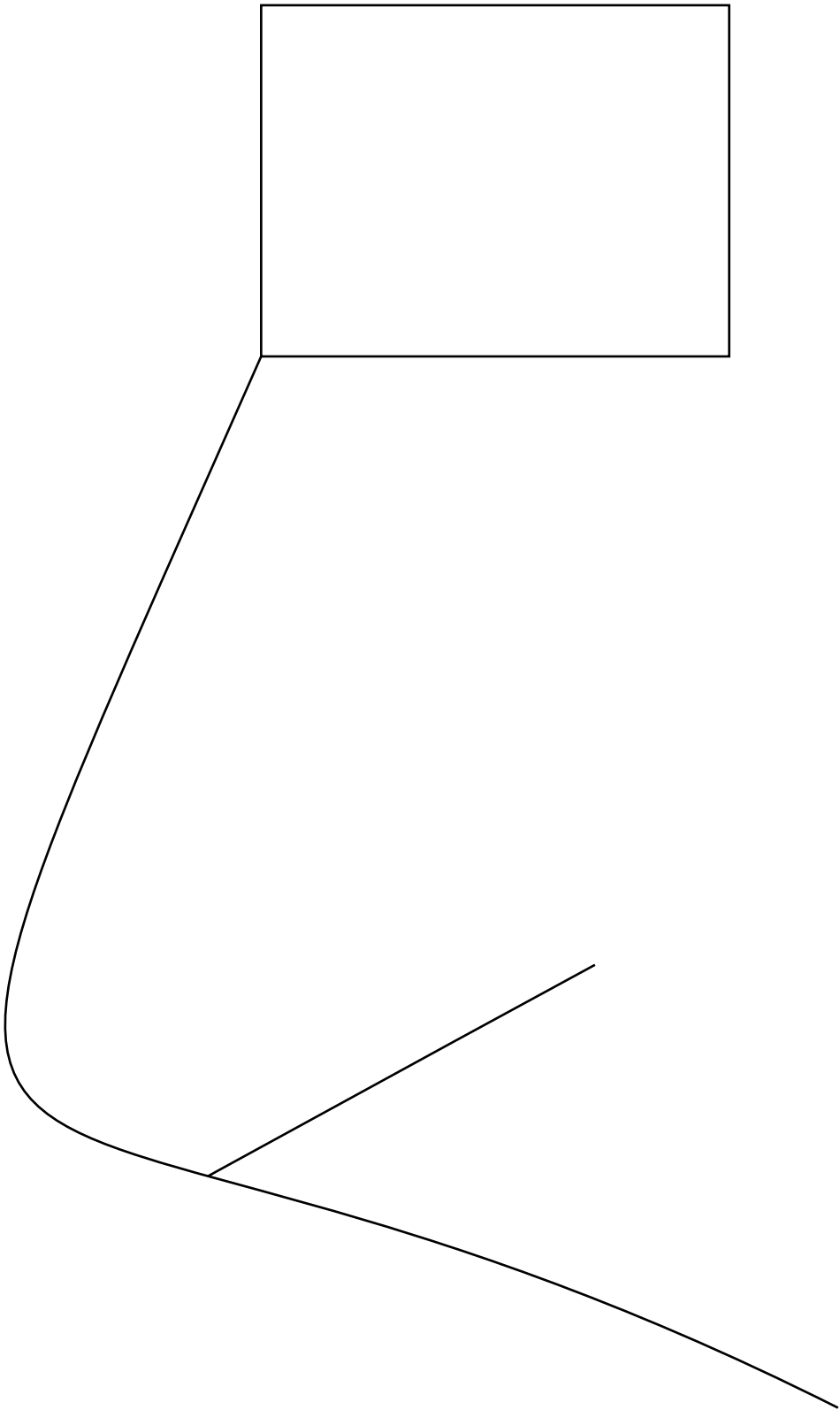
大株主(上位10名)



所有者別分布状況  
(年度)











## グループ環境経営の推進

日本郵船グループ 環境経営ビジョンと3つの戦略  
(2005年3月制定)

---

# 2017年度環境活動ハイライト

日本郵船グループの取り組み 外部からの表彰・選定

2017年4月

